

磐越自動車道 長谷地区附帯工設計

特 記 仕 様 書

令和 6 年 7 月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

新潟工事事務所

第1章 総則

1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 磐越自動車道 長谷地区附帯工設計

1-1-2 路線名 東北横断自動車道 いわき新潟線

1-1-3 履行箇所 自) 新潟県東蒲原郡阿賀町谷沢 (STA.601+80)  
至) 新潟県阿賀野市新保 (STA.750+42)

1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目		数量	備考
現地踏査		1 式	
	溝渠工設計A	1 基	西山TN起点側共同溝
	溝渠工設計B	1 基	三川—7BOX
	詳細図作成	2 枚	用排水溝詳細図作成
	工事用道路設計B	0.2km	長谷TN
	工事用道路設計C	0.2km	長谷橋
	スノーシェルター設計	1 基	
	雪崩防止柵設計	1 タイプ	西山TN、長谷TN
工事発注用図面作成	図面修正A	3 枚	比較的簡易
	図面修正B	3 枚	比較的簡易
	図面修正C	4 枚	比較的簡易
構造物設計	仮栈橋設計A	1 断面	詳細設計
	仮栈橋設計B	1 断面	詳細設計
	仮栈橋設計C	3 断面	基本設計完了後の詳細設計
	仮栈橋設計D	3 断面	詳細設計

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和6年7月版とする。

1-3 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことが出来るが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（別添1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）： 契約保証取得の日の翌日から 390 日間（まで）  
余裕期間（業務着手期限）： 契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

1－4 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書 1－12－4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が 100 万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- （1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内
- （2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内
- （3）完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 15 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1－5 適用する共通仕様書

契約書第 1 条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和 6 年 7 月版とする。

1－6 主任補助監督員の権限

共通仕様書 1－6－3 の規定に基づき主任補助監督員に委任した権限は次のとおりである。

(1) 契約書に規定する監督員の権限のうち、下表の事項

条	項 目	内 容
1-13-2	作業日	休日等の作業の確認

### 1－7 資料の貸与

共通仕様書 1－15－1 に示す貸与資料は、一覧に示すとおりとする。

ただし、履行期間中の調査等業務について、その成果品等の貸与予定日は次のとおりとする。

なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。また、設計を行うため資料の復元等を要する場合は、監督員と協議し定めるものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
詳細測量成果品	磐越自動車道 長谷地区詳細測量	契約締結後	電子成果品
	磐越自動車道 長谷地区測量業務	令和 6 年 11 月頃	電子成果品
詳細設計成果品	磐越自動車道 西山トンネル詳細設計	契約締結後	電子成果品
	磐越自動車道 長谷橋基本詳細設計	契約締結後	電子成果品
施工計画検討業務 成果品	磐越自動車道 長谷地区施工計画検討業務	契約締結後	電子成果品
土質調査 成果品	磐越自動車道 長谷地区土質調査	契約締結後	電子成果品
	磐越自動車道 長谷地区土質調査	令和 6 年 12 月頃	電子成果品

### 1－8 受注者相互の協力

共通仕様書 1－20 の「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知するものとする。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
磐越自動車道 長谷地区土質調査	未定	未定	東日本高速道路㈱	
磐越自動車道 長谷地区測量業務	未定	未定	東日本高速道路㈱	

### 1－9 部分引渡し

契約書 3 8 条の「指定部分」及びその引渡し時期は下表のとおりとする。

項目	使用開始時期	使用理由
附帯工設計 溝渠工設計 B	令和 7 年 5 月頃	別途発注業務で使用するため
附帯工設計 工事用道路設計 B	令和 7 年 5 月頃	別途発注業務で使用するため
附帯工設計 工事用道路設計 C	令和 7 年 5 月頃	別途発注業務で使用するため
構造物設計 仮栈橋設計 A	令和 7 年 5 月頃	別途発注業務で使用するため
構造物設計 仮栈橋設計 B	令和 7 年 5 月頃	別途発注業務で使用するため
構造物設計 仮栈橋設計 D	令和 7 年 5 月頃	別途発注業務で使用するため

### 1－10 計画工程表

#### 1－10－1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1－14－1（2）に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1－6 に示す資料の貸与時期、共通仕様書 1－9－3 に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書 1－22 に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項目	備考
現地踏査		
附帯工設計	溝渠工設計 A	
	溝渠工設計 B	
	詳細図作成	用排水溝詳細図
	工事用道路設計 B	
	工事用道路設計 C	
	スノーシェルター設計	
	雪崩防止柵設計	
工事発注用図面作成	図面修正 A	
	図面修正 B	
	図面修正 C	
構造物設計	仮栈橋設計 A	
	仮栈橋設計 B	
	仮栈橋設計 C	
	仮栈橋設計 D	

#### 1－10－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－22 に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－14－

3に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

#### 1-1-1 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書1-2-2に規定する調査等打合せ簿の監督員への提出は、打合せ後7日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合せ簿を受領後7日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

#### 1-1-2 三者協議会について

本調査等の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事に受注者が協議して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途監督員及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

### 第2章 業務細部に関する事項

#### 2-1 附帯工設計

##### 2-1-1 溝渠工設計A

溝渠工設計Aは、下表に示す箇所について行うものとする。

測点	種類	設計区分	内空条件	延長 (m)	斜角 (°)	標準図集の準用有無	断面変化	断面形状	ウイング有無	応力計算
STA. 632 付近	ボックスカルバート	詳細設計	幅 1.5m × 高さ 1.94m	30.4m	割増 無し	使用不可	無	1連 1層	無	有

##### 2-1-2 溝渠工設計B

溝渠工設計Bは、下表に示す箇所について行うものとする。

測点	種類	設計区分	内空条件	延長 (m)	斜角 (°)	吞口吐口の設計難易度	断面変化	断面形状
STA. 662 付近	パイプカルバート	詳細設計	Φ2.0m	33.1m	74° 48′	簡単	無	1連 1層

### 2-1-3 詳細図作成

詳細図作成は、下表に示すとおり行うものとする。

区 分	図面種別	枚 数	作成難易度	簡易な 応力計算	備 考
用排水溝 詳細図作成	用排水溝系統図 用排水溝横断図	2	普通	無	

### 2-1-4 工事用道路設計

工事用道路設計は、下表に示すとおり行うものとする。

測点	接続路線名	設計区分	備 考
STA. 658+21～ STA. 659+38	長谷橋Ⅱ期線 長谷トンネルⅡ期線起点側	工事用道路設計C 詳細設計	
STA. 661+97～ STA. 664+00	長谷トンネルⅡ期線終点側	工事用道路設計B 詳細設計	

### 2-1-5 スノーシェルター設計

スノーシェルター設計とは、スノーシェルターについて工事实施に必要な詳細設計、数量算出及び赤黄チェックを行うことをいう。なお基礎の設計を含むものとする。スノーシェルター設計の検測数量は、設計基数（基）とする。

測点	設計区分	延長	構造	断面変 化	断面形状	備考
STA. 661+97～ STA. 662+49	詳細設計	52m	P C コンク リート	無	1 連 1 層	応力計算有

### 2-1-6 雪崩防止柵設計

雪崩防止柵設計とは、雪崩防止柵について、工事实施に必要な詳細設計、数量算出及び赤黄チェックを行うことをいう。なお直接基礎の設計を含むものとする。雪崩防止柵設計の検測数量は設計種類（タイプ）とする。

測点	設計区分	タイプ	設計面積	仮設設計 の有無	備考
STA. 658+21 付近 STA. 659+38 付近	詳細設計	雪崩予防柵	1,000 m <sup>2</sup> 以上	無	応力計算有

## 2-2 工事発注用図面作成

### 2-2-1 図面修正

共通仕様書 5-1 1-1 に記載の図面修正の種別に下表を追加する。

種別	図面の修正率	図面の区分	備考
図面修正 A	10%未満	トンネル設計平面図	比較的簡易
図面修正 B	30%未満	避難連絡坑一般図、標準避難連絡坑扉部一般図、標準避難連絡孔扉部詳細図	比較的簡易
図面修正 C	50%未満	避難連絡坑一般図	比較的簡易

## 2-3 構造物設計

### 2-3-1 仮栈橋設計

共通仕様書 5-7-4 詳細設計に以下の文章を追加する。

仮栈橋設計とは、下表に示す構造物について、工事実施に必要な詳細設計、数量算出及び赤黄チェックを行うことをいう。

測点	対象箇所	断面数	構造物種別	備考
STA. 658+21 付近	長谷トンネルⅡ期線から長谷橋Ⅱ期線へアクセスする際に必要な仮栈橋設計	1	仮栈橋 A	
STA. 659+38 付近	長谷トンネルⅡ期線から長谷橋Ⅱ期線へアクセスする際に必要な仮栈橋設計	1	仮栈橋 B	
STA. 662+00 付近	一般道より長谷トンネルⅡ期線へアクセスする際に必要な仮栈橋設計	3	仮栈橋 C	
STA. 661+97～ STA. 664+00 付近	一般道より長谷トンネルⅡ期線へアクセスする際に必要な仮栈橋設計	3	仮栈橋 D	

## 2-4 打合せ

本業務における打合せの回数は初回打合せ 1 回、中間打合せ 1 回、業務内容確認検査 1 回、完了検査 1 回の合計 4 回とする。打合せの検測数量は 1 式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても打合せ費用の変更は行わないものとする。ただし、監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取り扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。



## 2－5 成果品

報告書の表紙は、薄青色、黒文字製本とする。

スノーシェルター設計及び雪崩防止柵設計の成果品は共通仕様書 1－4 6 に示す成果品及び下表のとおりとする。

### (1) 成果品一覧表

設計種別・項目	成果品項目	出力時の縮尺 (分の 1)	出力用紙 の大きさ	尺度	提出 部数	摘要
スノーシェルター設計	詳細設計図	—	A3	—	1	
	設計計算書	—	A4	—	1	製本
	数量計算書	—	A4	—	1	製本
雪崩防止柵設計	詳細設計図	—	A3	—	1	
	設計計算書	—	A4	—	1	製本
	数量計算書	—	A4	—	1	製本

## 第 3 章 補足事項

### 3－1 調査内容の変更及び追加について

下記に示す事項については、本業務に変更・追加する可能性があるので、受注者は監督員と綿密な連絡をとると共に、これについて、監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとし、これらに要する費用は発注者と受注者とで協議し定めるものとする。

#### (1) 地元協議及び現地踏査に基づく数量の変更及び追加

(別添1)

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）  
支社長（所長） 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

(調査等名)

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

(3-2. 受注者が設定した業務の終期)

以上